

令和7年度 小金井第三小学校 第3回学校運営協議会 記録
＜日時＞令和7年9月12日（土）午前11時20分から午後0時20分まで
＜会場＞第二理科室
出席者：12名中12名参加

1 開会の言葉および校長挨拶

○お忙しい中、学校公開と学校運営協議会に参加いただきありがとうございます。夏休みが明け、学校に子供たちが戻ってきた。夏休み中の様々な経験が子供の成長につながっていくが、2学期は様々な行事があり、そういった行事の中でも子供たちに経験や成功体験を積ませ、自己肯定感の育成につなげていきたいと思っている。学校運営協議会委員の方々からのご意見をよろしくお願いしたい。

2 公開授業について

○子供たちが図工で楽しそうに活動していたのが印象的だった。英語の授業ではALTの使い方を工夫する必要があるように感じた。教師の声掛けで、課題への指摘が強いように感じたクラスもあった。
○今日は図工や音楽、体育など楽しい授業が多くあるように感じた。ICTを使ってモニタに教科書を映すクラスがあったが字が小さすぎて見えにくいように思う。工夫が必要では。
○楽しい授業が多かったように思う。「楽しい」から「好き」につなげてもらいたい。
○先生によって教え方は違うが、全体的に先生たちのレベルが高いように感じた。教員一人一人のスキルをどう生かすかが課題。今の教育は教える内容が多すぎ、何を教えるのかを精選する必要がある。
○5年の保健の学習では、クロムブックを使って意見を交流させる活動をしていたが、ICT活用が子供たちに身に付いているように感じた。また、体育館で行った靴飛ばしはみんなが平等な位置から競争ができていたのがよかった。勝ち負けも集団で競い、個人が責められないのがよかった。
○今週は雨が多く遊べないことも多かった。夏休み明けの中で暑さの中でも子供たちはよく集中していた。授業では子供の人格を認めながら伝えるような声掛けが見られてよかった。
○租税教室は1億円も持ってみる体験が面白かった。税金の無い世界を考えさせることで税金について考え直し、子供たちに必要性を実感させられていた。
○PTAボランティア「みんなの居場所」の見学会もやっていたが、不登校児童の中で関係を作るようになった児童も増えているようでボランティア活動の成果が感じられた。
○登校見守りをしていると心配になる児童もいるが、学校公開でそういった子たちがしっかり授業に参加しているのを見られて安心した。
○今の若い人は新聞もニュースも見ないので、学校が社会についての教育をする唯一の場になっている。学校の教育活動を通して社会教育を進めてもらいたい。

3 自己評価・学校関係者評価について

自己肯定感の育成に課題、地域の教育資源の活用に成果が見られる。後期の活動で改善を図る。

4 6年清里林間学校実施報告会について

9月12日（金）実施の保護者説明会の内容をもとに報告

5 次年度に向けて

次回、学校運営協議会で次年度の学校経営方針の素案を提出する旨の連絡

6 事務連絡

子供会よりミステリートレイン、放課後子どもより漢検、PTAより地域サポーターの連絡

7 閉会の言葉（副校長）